

# 平成30年度 地区別父母懇談会 開催



7月22日 東京会場

## 二松學舎大学 父母会報

平成5年5月10日創刊  
平成30年10月20日発行  
(第102号)

二松學舎大学父母会  
(本部・事務局)  
東京都千代田区三番町6番地16  
二松學舎大学学生支援課

題字は  
故 観山貞広堂吉先生書



平成三十年度二松學舎大学地区別父母懇談会が、六月十日(日)の名古屋市・山口市を始めとし、八月四日(土)まで全国八都市(開催日時順に名古屋市・山口市・高崎市・長野市・盛岡市・千代田区「九段キャンパス」・高知市・福岡市)で開催されました。

地区別父母懇談会は、父母会の主要事業の一つで、今年で二十五回を数えます。大学から学長・副学長・学務局長・学部長・両学部の教員及び職員が分担して各地に赴き、父母との懇談を行いました。

懇談会の内容は大学の現況、本学の教育方針、学習状況・学生生活・就職状況等についての説明、個別相談でした。父母の関心が高かったのは、「大学の現況報告」と「学生の学習状況について」でした。

九段キャンパスでは、キャリアセンターによる「現在の就職環境と保護者支援のあり方について」の講演、教職支援センターの教員による教職に関する講演会が行われ、好評を博しました。キャリアセンターによる講演の内容については、七頁に掲載していますので、ご一読ください。

六月十日(日)の愛知県・山口県を皮切りに全国各地で父母懇談会が開催され、父母と大学教職員の交流が行われました。その内容を寄稿していただきました。

# 愛知会場

## 竹下いずみ

愛知会場の地区別懇親会は、六月十日(日)名古屋観光ホテルにて開催されました。大学からは、教務事務部 西園部長、学生支援課 山口課長補佐の二名、そして名古屋・豊橋・静岡・三重から九名の父兄が出席し、計十一名による懇親会となりました。

最後の私事ではありますが、息子も昨年本大学を卒業し、現在社会人二年目。在学中にお世話になったゼミの先生方や先輩後輩の繋がりを大切に、度々大学に足を運んでいる様です。卒業後も戻れる環境があるという事は、きっと大学生活で貴重な時間を共有した証でしょうね。この出合いに感謝申し上げます。

懇親会では、資料にそって話は進み、各専攻ごとの必須科目の単位・進級や卒業の為の要件。履修登録した時間割や成績表・基礎ゼミナールの先生からの出席・学習状況のコメント書面も用意して頂いており、娘が真面目に大学生活を過ごしている様子が分かり、大学側からのきめ細やかな指導をして頂いていると実感しました。

その後、父兄による意見交換を行い、子供が親元から離れて一人暮らしをしている為、食生活や健康管理の心配。就活の向けて親子間での思考の違い。教職志望だが、併用して一般企業への就職活動も行っている

その後、父兄による意見交換を行い、子供が親元から離れて一人暮らしをしている為、食生活や健康管理の心配。就活の向けて親子間での思考の違い。教職志望だが、併用して一般企業への就職活動も行っている



# 山口会場

## 畠堀 数美

去る六月十日(月)。地元山口県で開催される懇親会ということで、どんな会なのだろうかと楽しみに参加させていただきました。会には、

内での様子をまとめてくださっており、目の行き届いた環境を感じることができました。

大学から教務事務部教務課課長補佐 小沢洋之様、同学生支援課係長 勇健一様の二名がご出席くださいました。保護者は私たち夫婦を含む二組三名が参加し、和やかなムードのもと会が始まりました。

今回、はじめて懇親会に参加しましたが、充実した時間を過ごすことができ、本当に参加してよかったと思います。ありがとうございました。

まず、お配りいただいた資料に沿って大学の理念や目標、取り巻く状況などのご説明をいただきました。なかでも、就職活動はおよそ一年後に迫っているということで、特に関心のある話題のひとつでした。二松學舎大学では、就職活動にあたって、一人の学生に対して何度も面談を重ね、相談に乗っていただいたりアドバイスをいただいたりできると伺い、遠く離れた地での就職活動に親として不安を抱いていましたが、とても心強く思いました。

また、娘が所属するゼミナールの教授が、日ごろの授業での様子や学





# 群馬会場

土屋亜由美

六月十六日(土)群馬会場の地区別父母懇談会が高崎ワシントンホテルプラザにて開催されました。大学からは菅原学長、江藤文学部長、馬淵学生支援課長ほか計六名にお越しいただきました。また、二十三家族三十一名と多くの父母の方が出席されました。

懇談会では、N2020からN2030プランへの説明、昨年度行われた創立一四〇周年事業について、新学科の設置や定員増など大学の現況について報告がありました。さらに基礎ゼミノートや短期留学の充実などの学習面や、就職に向けたきめ細かいキャリアサポートについて説明がありました。また、五号館の利用開始や一号館から四号館の耐震についても説明いただきました。学習や就職状況の熱心で細やかな対応だけでなく、安全な学校生活を送れるよう災害時の対応も心掛けていただいていることが確認でき安心いたしました。

個別相談では各学部担当の先生方

に相談することができ、大学との距離を身近に感じました。子供の成績通知書や今年度の時間割、ゼミの先生からのコメントを用意していただき詳しく学校での様子を知ることができ参加して良かったです。お近くの会場で開催される場合は、是非ご参加することをお勧めいたします。

最後になりますが、大変お忙しい中このような貴重な機会を設けていただき心より感謝申し上げます。



# 長野会場

中西 剛

六月二十四日(日)十一時より、長野(松本)会場の地区別父母懇談会がピレネにて開催されました。大学からは副学長・国際政治経済学部教授、学務局長・文学部教授、教学事務部副部長・入試課長、学生支援課長、教務課課長補佐の方々にお越し頂きました。

懇談会では、先生方の用意して下さった資料に基づき、大学の現状、学生の生活状況、学習状況について丁寧に細やかな説明をして頂きました。併せて個別にも成績通知書や本年度の時間割、ゼミの先生からのコメントも頂き、娘が大学内でのように過ごしているのか詳しく分かり安心しました。

二松學舎大学の独自の奨学金制度がございますが、お陰様で娘も入試奨学生の給付を受ける事ができております。本人も真剣に学問に取り組む事もでき、とても良い制度と感じております。

意見交流の場では、離れて暮らす親御さんのリアルな想いや、娘と同

じ夢に向かう学生さんの悩みや不安、頑張っている様子も伺えて、大変共感できました。

最後になりますが、このような和やかで素敵な機会を設けて頂き、感謝すると共に、今後も大学及び、父母会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



# 岩手会場

高橋 陽子

七月八日(日) 岩手県のホテルメトロポリタン盛岡NEW WINGにて地区別父母懇談会が開催されました。大学から文学部教授磯副学長、国際政治経済学部教授中山学部長、教学事務部小西副部長、中原副部長、学生支援課勇係長の五名にお越し頂き、十三名の父母が参加されました。

懇談会では、先生方より資料に基づいて大学の現状、学生の学習状況、学生生活についてなど、きめ細やかな説明を聞かせて頂きました。中でも就職活動中の学生の九割以上が内定しているという喜ばしいご報告や、昨年より開設された文学部都市文化デザイン学科が順調にスタートしているご説明など、今年開設された国際政治経済学部国際経営学科の将来性あるご解説を頂き、時代と共に進化している大学の発展性を受け止めることが出来、大変嬉しく感じました。

また個別に成績通知書や今年度の時間割、ゼミの先生からのコメント表をご用意頂き、大学内での様子が



知る事ができ、離れ暮らす子供の不安を解消につながる対応を頂き、感謝しております。

個別相談では、じっくりご相談の時間を設けて頂き、今後の希望が持て安心しました。

最後に、このような機会を設けて頂き、心より感謝いたしますと共に、今後も大学及び父母会の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

# 東京会場

本間寿美世

地区父母懇談会が七月二十二日(日) 十四時より、九段キャンパス中州記念講堂において連日の猛暑にも関わらず数多くの父母が参加し開催されました。

大学側からもご多忙の中、菅原学長、磯副学長、高野副学長、江藤文学部長、中山国際政治経済学部長ほか、保護者面談にも多くの指導教授の方々にお越し頂きました。

父母会長挨拶に続き、菅原学長より挨拶ならび大学の現況を含めてのお話の後、各学部長より学部・学科の現況報告がありました。又、配布資料『時間割』や『成績通知書』の説明もありました。出席していなかったら見過ごしてしまうであろう内容を知ることが出来て有り難かったです。将来、国語の教員を目指している娘にとって“国語力”を高めていく指導をして下さる本学に入学出来たことに嬉しくもあり、どの様な成長をしていくのかといった期待も感じた懇談会でした。その後場所を移してマイナビ副編集長の高出実



さんより「就職に関する講演会」と、教職支援センター若井田教授より「教職に関する講演会」が開催されました。両方共出席し、見聞を広めることが出来ました。

本日の懇談会出席を通して有意義な時間を過ごさせて頂いたことに、心から感謝いたします。



# 高知会場

遠藤 隆俊

八月四日(土)、酷暑の中、高知サンライズホテルで、四国地区父母懇談会が開かれました。

大学から馬淵裕之学生支援課長と中川智弘教務課員が出席し、高知県在住の父母、三組四名が参加しました。

はじめに職員のお二人から大学の現況と子どもの学習状況について説明があり、本学学生の出身地が関東周辺に集中し四国は少ないことや、教職員一同、丁寧な学生指導に努めていることなどが述べられました。

七月、西日本豪雨の災害時には、大学から子どもを通じて我々父母の安否確認をいただくなど、他大学にはないきめ細かな対応と日頃の学生指導に深く感謝申し上げます。

意見交換では、子どもの入学動機や就学状況、時間割、GPA、就職、アルバイト、免許資格、海外留学など、より身近な話題について意見が交わされました。父母同士の情報交換も活発に行われ、地区別懇談会のありがたさを感じています。



本会の開催地や方法についても話題となり、県を越えての参加は必ずしも容易でないことや高知の懇談会は酒宴に限るなど、酒国土佐ならではの意見も飛び出しました。

遠方の保護者にとつて、本会は大学や父母同士の意見交換ができる良い機会です。遠く土佐までお越しいただいたお二人に厚く御礼申し上げますとともに、今後も継続して本会を開いていただければ幸いです。

# 福岡会場

永牟田俊雄

九州地区父母懇談会が八月四日(土)にホテルセントラーザ博多において、大学側より小西明徳教学事務部副部長、山口貴子学生支援課課長補佐にお越しいただき開催されました。

最初に大学の現況について大学側より説明があり、社会の変化に対応し計画的な大学運営を行うためN2020・N2030プラン、一四〇周年事業など今後大学が中長期的に取り組む内容についての概要説明がありました。その中で今後も大学の理念と目標について創立当時の思いを忘れずに進んでいきたいという学長の意をくみ取り保護者としても応援していきたいという思いを強くしました。

その後学生の学習状況や生活についてお話がりましたが、成績についてGPAの見方と重要性について説明いただき多少なりと子供の学問の習得状況が理解出来ました。願わくば夢に向かって進んでもらいたいものです。

午前中、大学の現状と今後の計画



についてお話いただき子供たちも大學生活の中で様々な体験や経験をし居ることが何え二松學舎大学に入學して良かったと思います。

午後からは個別相談が行われ父母各々が大学と意見交換でき充実した一日となりました。

最後に地方の学生も少ない中このような機会を頂きありがとうございました。皆さんも一度参加されたら如何ですか。



## 首都圏地区の父母会で、

# 『就職に関する講演会』

## を実施いたしました！

七月二十二日『地区別父母懇談会 東京都神奈川県』、七月二十九日『地区別父母懇談会 千葉県埼玉県』（いずれも九段校舎で実施）に於いて、『就職に関する講演会』を実施しました。

演題：現在の就職環境と保護者支援のあり方について

講師：株式会社マイナビ 就職情報

事業本部 企画広報統括本部

東日本統括部 マイナビ副編

集長 高出実氏

- 講演の内容としては、
- ①現在の就職環境について
  - ②就活スケジュールについて
  - ③ご家族による支援のあり方についての三部構成で話しがされました。

まず①現在の就職環境についてですが、報道では学生側の売り手市場であるとか求人倍率がバブル期以後の最高水準であるとか騒がれております。それだけを聞くと、就職は安易にできるものなのではと錯覚しがちです。

しかし中身をよく見ると、大企業の求人倍率は〇・三七倍と厳しい数

字となっており、この数字は年々厳しさを増しています。また業界ごとでも求人倍率には隔たりがあり、金融などの人気業界は〇・二一倍と、やはり厳しい状況が見て取れます。

これはひとえに、企業の求人状況と学生の希望とのミスマッチが生じていることの表れです。求人側の意図は変えられないので、学生側の意識を変える必要があります。具体的には、なぜ大企業でなくてはいけなののか、なぜその業界なのかを見つめなおし、中堅中小企業でも優良企業は多数存在すること、BOB企業など学生の目に留まりにくい企業でも社会に影響力の高い企業も多いことなどを理解することです。逆にこうして意識を変えることで、内定を得やすくすることも可能です。

②就活スケジュールについてですが、経団連が『採用活動に関する指針』を定めて三年次生三月に企業広

報開始、四年次生六月に選考開始、十月に内定というスケジュールを作っていますが、中堅中小企業はそれを遵守する必要もなく、また経団連所属企業と同時期に採用活動をしていたらとても採用できないこともあり、時期を早めて採用活動をする現実があります。

企業広報も前倒して実施されます。学生側の心得としては、企業広報開始の時期が来たから企業研究するのではなく、早い段階からインターンシップなどを通して業界研究や企業理解を深めていくことが必要となります。そうやって職業観を早い段階から養っていくことと同時に、ヒューマンスキルを高めていくことも重要で、学業に打ち込んだり、ゼミやサークルなどチームでの取り組みに積極的に参加したり、立場や価値観が異なる人と関わったり、読書や旅行等を通じて見分を広めるなど、企業が求める人物像を体現していくことも行なってください。

③ご家族による支援のあり方ですが、いわゆる『ティーチング』（教える・覚えさせる・叱る）ではなく、『コーチング』（引き出す・考えさせる・褒める）をベースとして欲しい。具体的には、強み・特徴を褒めると自信につながるのと、とにかく褒める。多くの仕事を知れば選択肢が増えるので、働く・仕事の話をする。安らげる場所を作って、規則

正しい生活をする。就職活動はけっこうお金がかかるものでもあるので金銭的支援をする。親の価値観を押し付けず、自分で意思決定させる。落ちても責めず、よいサポーターになる。などです。

講演会では大きくうなずくご父母も見られました。

キャリアアセンターとしましても、ご家族の支援と両輪で学生をサポートしていければと思っております。高学年の就職活動時期に限らず、普段から進路・将来について話せる場作りができればと存じます。





# 平成30年度以降の短期海外語学研修等のご案内 海外留学を考えてみませんか

本学では、春・夏の長期休業期間中に約三週間の短期海外語学研修を実施しています。世界有数の大学からその国らしさを堪能できる高品質なプログラムを厳選して学生に提供しており、修了者には単位を認定しています。

本年度から英国、豪州、カナダの新規研修先も追加して、英語圏四カ国(英国、豪州、カナダ、アイルランド)五大学はじめ中国語圏、韓国語圏への語学研修のプログラムが用意されています。

【英語圏春期】サザンクロス大学、バッキンガム大学、ダブリンシティ大学  
夏期 ケンブリッジ大学、フレイザーバレー大学

豪州ゴールドコーストにあるサザンクロス大学での語学研修は、南半球にあることから二月は夏期にあたり、温暖な気候でゆったりと語学研修を過ごすため、はじめての海外留学にむいています。キャンパスには野生のコアラが生息しており、自然豊かな豪州らしさあふれる研修先です。

英国国内の学生満足度調査一位に出されたバッキンガム大学での研修は、きめ細かい学生ケアが魅力です。語学研修としてはもとより優雅な時間が流れ、気品ある英国の伝統文化も体験できるプログラムです。

アイルランドにあるダブリンシティ大学における本研修は、基礎的な英語

力の向上とホストファミリーとの交流を重視しています。きさくな国民性どこか郷愁あふれる観光先としても人気のアイルランドで、温かみあふれる異文化交流が魅力です。

夏期に実施しているケンブリッジ大学による英語研修は、映画「ハリポッター」さながらの荘厳な環境で、高度な専門科目の講義を英語で学びます。同大学講師の講義、同大学学生との交流、伝統的なフォーマルディナー、カレッジ寮生活体験など、国際的に高評価のある同大学での体験は一生の思い出となるでしょう。修了者には、ケンブリッジ大学公式修了書が発行されます。向学心の高い学生向けの研修です。

世界で最も暮らしやすい都市と評されるカナダ・バンクーバー郊外にあるフレイザーバレー大学での研修は、雄大な大自然を感じるカナダの暮らしを楽しむながら英語を学習できます。

## 【中国語圏】北京大学

過去二十回以上の実施となる本研修は、中国の最高学府である北京大学での研修を通して実践的な中国語能力と、中国の歴史・文化に対する理解を深めることを目的とした本学独自のプログラムです。北京大学講師の指導を受けながら、語学力向上と歴史・文化を学びます。京劇、雑技鑑賞、名所旧跡の参観など首都北京で中国語を試す

機会が豊富にあります。

## 【韓国語圏】高麗大学校

韓国高麗大学校の学生との交流機会、韓国家庭でのホームステイが盛り込まれたとても有意義な研修です。現地らしい生活を体験できるソウルでのホームステイ体験は、他大学でもあまり見かけない特別な研修です。

## ＜募集概要＞

春期実施日程…二〇一九年二月中旬から三週間(サザンクロス大学、バッキンガム大学、ダブリンシティ大学、高麗大学校)。

夏期実施日程…二〇一九年八月中旬から三週間(ケンブリッジ大学、北京大学、フレイザーバレー大学)。

研修費用の目安…豪州四十五万円前後、英国六十一万八千円、アイルランドおよびカナダ五十五万円前後、中国・北京大学四十万円前後、韓国・高麗大学校三十五万円前後。

募集人員…各研修ごとに一名から十五名程度。実施にあたり最少催行人数の設定や参加要件(英語力等)の条件等がありますので、詳しくは国際交流センターまでお問い合わせください。

短期海外語学研修とは別に、海外協定校への派遣留学(原則一年間)も英語圏、中国語圏、韓国語圏に展開しており、次年度以降もグローバルに協定校を拡充し、魅力的な留学制度を充実させております。

## 問合せ先…

二松學舎大学国際交流センター

〇三―三三―六一―五七五―

icenter1@nishogakusha-u.ac.jp



写真①英国・ケンブリッジ大学、②カナダ・フレイザーバレー大学、③中国・北京大学、④豪州・サザンクロス大学、⑤韓国・高麗大学校、⑥英国・バッキンガム大学



## ケンブリッジ大学ホマートンカレッジ (英国) 短期海外語学研修に参加して

●国際政治経済学部 二年 中村 洋輝

### イギリスを研修先として選んだ理由

海外へ一度も行ったことがなかったため、外国の文化に触れることのできる貴重な経験ができると思いこのプログラムに参加しました。イギリスを研修先を選んだのは、「有名なケンブリッジ大学で英語を学ぶことができる」ことが一番の理由です。

### 研修先の雰囲気

ケンブリッジ大学ホマートンカレッジに到着した時の一番の印象は、圧倒的な開放感でした。ハリポッターの世界に訪れたような感じでした。大学内の建物もレンガ調で統一され、とてもおしゃれでした。先生やTA(現地大学生)もとても社交的で僕たち研修生に手厚く接してくれました。

### 学習の内容／今回の研修で得たこと

学習内容は、基本的にディベートとプレゼンです。授業自体は午前と午後、各三時間です。イギリスと日本の文化比較や、政治、芸術分野等を学びました。先生はとても面白く、優しいです。何より真剣に向き

合って授業をしてくれたのでとても取り組みやすかったです。

この研修で得たものは、スピーキング力とリスニング力です。強制的に英語を使わなければ行けない状況下に置かれ、即座に理解し表現することを要求されるので、その点が一番伸びたと思います。しかし、自分の英語力のなさに改めてもどかしさを感じる機会にもなりました。何が自分に足りなくて、何をすべきなのかを気づかされた研修でした。このプログラムでイギリスへ行つて、異文化に触れ、もっと現地の方と喋りたいと思いました。自分の課題がわかった点、これからの英語の取り組み姿勢を認識できた点が僕の成長ポイントだと思います。



ケンブリッジ大学ホマートンカレッジの外観写真

## 高麗大(韓国)短期海外語学研修に参加して

●文学部 三年 三角 理紗

### 韓国を研修先として選んだ理由

日本語を全く使わない環境に行けば今以上に成長できる、またホームステイならではの家庭の雰囲気や韓国の文化に触れることができる良い機会と思い留学を決めました。

### 研修先の雰囲気

学校の敷地はとても広く、晴れた日には中庭でランチを楽しめます。敷地が広い高麗大には、映画館など様々な施設が揃っていました。現地の学生と触れ合うことができるトウミ活動では、相手と上手くコミュニケーションを取る事ができるだろうかとの不安もありましたが、こちらが聞き取れない場合は、簡単な単語に変えたりジェスチャーを交えて伝えてくれました。また、トウミから頻繁に「これは日本語で何言うの?」と質問され、それをどう韓国語に訳して分かりやすく伝えるかを考えて会話をするのに疲れますが、普段なかなか出来ない経験でした。また授業では教わらない最近流行っている若者言葉を教えてくれたりと、教科書では勉強できない事も学べました。

### 学習の内容／今回の研修で得たこと

登校初日にクラス分けテストが行われ、私のクラスは全員日本人でした。授業はオール韓国語で先生は日本語が分かりませんが、こまめに意味を理解しているか確認してくれるのでついていけないという事はありません。また毎週金曜日には課題が出され、それを発表するテストがありました。日本のことわざの意味と使い方の例を考える、そして、自分が今まで見た公演を紹介するという二つの課題でした。いかに韓国語の語彙力がないのか気付かされましたが、ホームステイ先のお母さん handed 伝えていただき、なんとか完成し発表する事が出来ました。



三角さん (向かって左)

●就職活動自由化？

先般、経団連の中西会長が、現在ある就職活動のルールを廃止する意向を表明しました。

これは二〇二一年卒（現在の二年次生）の学生の就職活動において、制限を撤廃し、自由化するというものです。

まずこのルールとは何なのか。正式には、『採用選考に関する指針』と言われるもので、学生の本分である勉学を阻害しないように配慮しながら企業の採用活動時期を明文化したものです。

具体的には  
・三年次の三月から広報活動（説明会の開催や求人票の公開、応募書類の受付）  
・四年次の六月から選考活動（面接の実施）  
というルールです。

しかし、罰則規定があるものでもなく、そもそも経団連所属企業以外は関係ないということもあり、だいぶ形骸化してしまいました。

今回のルール廃止発言は、そういった現状に即した面もあり、あくまで会長の個人的意見ということで一石を投じたものなのです。また、経団連

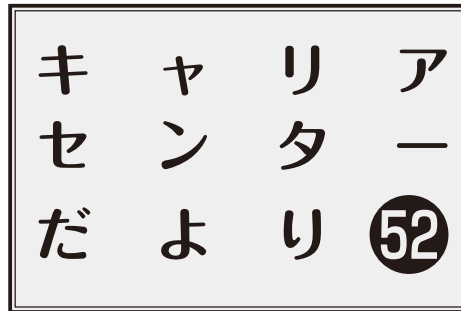
がルールを廃止しても、別団体がルール作りをしていく可能性もあります。ルール廃止にはメリットもデメリットもあります。それは、学生にとっても、企業にとっても、です。

学生側のデメリットとしては、就活の超早期化（一年次から就活に追われる）がありますが、逆に早々に進路を決めれば、伸び伸びと学生生活に臨める、というメリットになるとも考えられます。

就職活動そのものが学業に影響を及ぼすのではないかという意見もあります。就職活動時期は自由であることを考えれば夏休みや春休みなどの長期休み期間中に行なうなども考えられます。

就職活動の長期化も懸念されますが、短い期間で将来や進路を考えるより、よりキャリアについて考察する機会や期間が増えることも捉えることができます。また企業側の採用時期が分散されれば、受けられる企業数は増えてチャンスが増えるとも取れます。

いずれにしても、ルールに一喜一憂せずに、大局的な視野で対応していくことが重要です。キャリアアセンダーではどのような場合でも戦略的に支援を行なう準備をしています。



附属高校野球部にお祝い  
甲子園出場のお祝を  
贈呈しました。

二松學舎大学附属高校野球部が、第一〇〇回全国高校野球選手権記念大会に、東京都代表として二年連続出場三回目の出場しました。初戦（第二回戦）、強豪・広島代表の広陵高校に五対二で勝利し、第三回戦に進み、八月十六日に行われた南埼玉代表の浦和学院高校との三回戦は、熱戦の結果、〇対六で敗退し、ベスト十六となりました。

甲子園出場に際し、二松學舎大学父母会では、八月一日（水）に中澤稔父母会副会長が附属高等学校を訪問、本城学校長にお祝をお渡ししました。



中澤副会長より本城校長へお祝を贈呈

父母会からの  
お知らせ

創縁祭二〇一八「刻むく平成最後の創縁祭」が、十一月三日（土）・四日（日）に開催されます。若い学生たちに混ざり、父母会役員も十二階一〇一号室で無料休憩所を設け、毎年参加しています。無料のコーヒー・紅茶・お茶などのお飲物とお茶菓子をご用意して、皆様のお越しをお待ちしております。

お気軽にお立ち寄りください。



2017年度の父母会無料休憩所



## マティアスゼミナール

ヴィゲル・マティアスゼミナールは比較文学・文化のゼミナールです。四年生三人、三年生十一人で楽しく活動しています。

主な活動としては、中国等の外国の文化に関する英文の資料を読み、考察し、意見交換を行っています。はじめは想像を超える英文の量に戸惑いましたが、マティアス先生のご指導もあり、文章の要点を掴んだ読みができるようになりました。

さらに合宿では、三泊四日で台湾を訪れました。台北市の国立故宫博物院では、規模の大きさや展示品の多さに驚き、その中でも有名

## 谷島ゼミナール

谷島ゼミナールは、映像・メディアを専門とするゼミです。現在四年生二十名、三年生二十名の四十名が所属しています。

三年次ではウィキペディア班、漱石アンドロイド班、合宿班、イベント班など各プロジェクトに分かれて活動します。また並行して、前期では指定されたテキストを題材として、各発表者がレジュメを作成し、文献講読を行います。

後期からは卒業論文のテーマを決め、構想発表を行います。

四年次では、卒業論文の進捗報告を行います。中には卒業制作として、大学のプロモーションビデオを制作する学生もいます。

# ゼミ探訪

な「翠  
玉白菜」  
という天然の翡翠で作られた彫刻の美しさにとても感動しました。実際に多くの展示品を目にし、文章だけでは感じることのできない台湾の歴史を肌で感じる事ができました。その他にも、台北市にある中国文化大学で日本語学科の学生の皆さんと交流をしました。書道や折り紙と一緒に楽しみながら、台湾・日本の文化や流行に関して皆さんの会話を交わすことができ、有意義な時間を過ごすことができました。

て、大学のプロモーションビデオを制作する学生もいます。

夏には、沖縄県で松本健太郎ゼミナールと合同で四泊五日のゼミ合宿を行いました。合宿では、ウィキペディアの記事を制作します。今年度は、沖縄県名護市嘉陽区についての記事を作成しました。名護市の公共図書館へ行き、郷土資料の収集を行い、記事を作成していきます。資料から分からないことは実際にその土地へ足を運び、確認作業も行います。また、地域の人と交流する懇親

代の外国文化について興味がある人、日本の文化と外国の文化の違いについて深く知りたい人にはとても勉強になるゼミです。また、そうでなくても先生が優しく重点的に指導してくださり、課題に対してのフィードバックも細かくして下さるのでとても良いゼミだと思います。これは私だけでなく他のゼミ生も感じているようで、「みんな個性的で楽しい!」「先生が優しく楽しい!」「マティアスゼミに入っ

会も開催しました。

ウィキペディア制作の他にも、マリンスポーツなど沖縄特有のスポーツや文化を体験し、五日間生活をすることで、ゼミ内においての交流を深めることが出来ました。

谷島先生は学生の自主性を尊重し、学生が興味のあることや、新しいことなどを学生に寄り添いながら指導をしてくださります。また、メディアを通じた幅広い分野について追求していける自由度の高いゼミナールです。

来年度からは都市文化デザイン学科のゼミナールと



台北・中国文化大学日本語学科の皆さんと

中国文学科三年  
増本 愛乃



国文学科三年  
石川 芽衣

## 父母会成長支援型(資格・能力取得育英)

# 奨学生募集

父母会では、平成二十六年より公務員試験等合格者

や父母会が指定した資格取得者を対象とした奨学金制度を設け、勉強環境支援を行っています。今年度も父母会成長支援型(資格・能力取得育英)奨学生を募集します

ので、左記の試験に合格した学生のご父母の皆様は、お子様にお声かけください。ご応募お待ちしております。

応募書類は、学生支援課で十月二十二日から配布します。

**応募資格**：本学に在籍する学部生で、左記のいずれかに該当するもの

資格の取得期間：平成二十九年十一月十七日～平成三十年十一月十五日に取得又は合格したもの

応募期間：平成三十年十一月五日～十一月十六日(但し、四年次生は、平成三十一年三月まで申請を受け付けます。)

支給金額等詳細については、父母会ホームページをご覧ください。

### 対象となる試験及び資格

**公務員試験**  
 公立教員採用試験(名簿登載)、国家公務員総合職採用試験、国家公務員一般職・専門職採用試験(大卒程度) ※専門職は国税専門官、労働基準監督官、外務省専門職員、航空管制官、皇宮護衛官(大卒程度)、法務省専門職員(人間科学)、財務専門官、食品衛生監視員、自衛隊幹部候補生の採用をいう。

**国家資格**  
 地方公務員「都道府県(大卒程度)」「特別区(都・消防庁)」「保安職(警察、自衛隊一般曹、地方の消防)」「市役所等(大卒程度)」

**公的資格等**  
 弁護士、公認会計士試験、税理士試験、司法書士、不動産鑑定士試験、中小企業診断士、社会保険労務士、ファイナンシャル・プランニング技能検定(1級・2級)、宅地建物取引士、行政書士、基本情報技術者試験、総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者試験

**語学検定**  
 日商簿記検定(1級・2級)、販売士(1級)、秘書技能検定(1級)

**語学検定**  
 日本語検定(1級)、日本漢字能力検定(1級)、TOEIC(870以上、600以上)、漢語水平考・HSK(6級)、韓国語能力試験(6級・5級)、ハングル能力検定試験(1級・2級)

## 編集後記

九月の北海道胆振東部地震、大型台風等により、被災された皆様、心よりお見舞い申し上げます。

附属高校野球部の二年連続三回目的出場で盛り上がった第一〇〇回夏の甲子園記念大会も終わり、秋も深まって参りました。会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか？

六月から八月にかけて全国八会場で開催された地区別父母懇談会には、今年度は二九五名の会員の皆様にご参加いただきました。懇談会は父母と学校との連携強化を目的として開催され、終了後のアンケートでは、多くの方々から、とても有意義な会であったと好評を博しました。

いただいた感想やご意見は、今後の活動に反映していきたいと思っております。ありがとうございます。

十一月三日～四日には、二松學舎大学祭「創縁祭」が開催されます。

父母会では、今年も無料休憩所(喫茶室)という形で参加いたします。お茶とお菓子をご用意してお待ちしておりますので、ぜひお立ちください。

末筆ではございますが、本号発行にあたり、ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。